

# STUDIO VOICE

MULTI-MEDIA MIX MAGAZINE

11

Media  
mix  
Magazine

スタジオ・ボイス

Vol. 251  
NOVEMBER  
1996  
600Yen



特集★

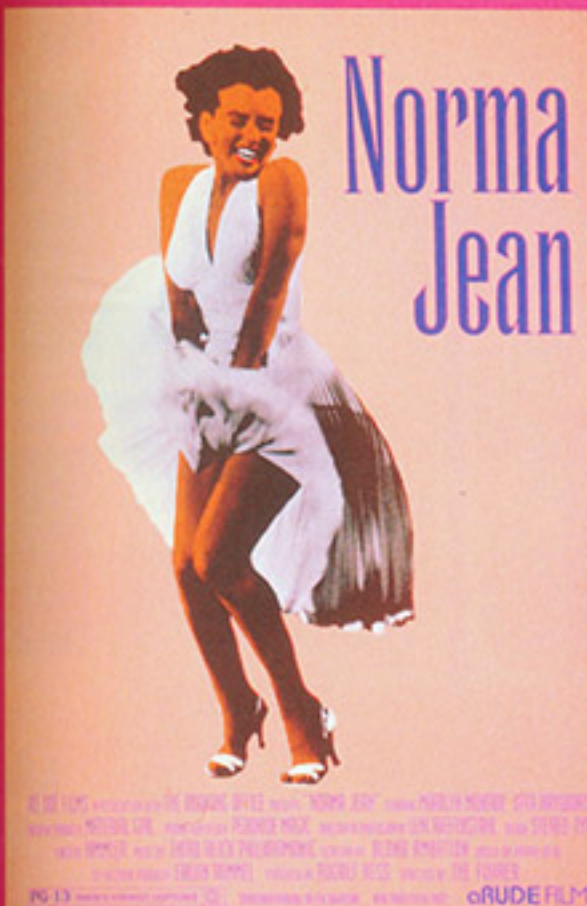
# アートブック 進化論

Take Art Into Other Fields

## Iké Udé

カバーガール：イケ・ウデのこと

文=曾根 裕



NORMA JEAN from CELLULOID FRAMES Series, Courtesy of WESSEL O'CONNOR GALLERY



VOGUE BAMBINI from the COVER GIRL Series



GQ from the COVER GIRL Series



WAPER'S BAZAAR from the COVER GIRL Series



VOGUE from the COVER GIRL Series



COSMOPOLITAN from the COVER GIRL Series



HOUSE BEAUTIFUL from the COVER GIRL Series



NIGERIAN VOGUE from the COVER GIRL Series



THE REGARDED SELF from CELLULOID FRAMES Series, Courtesy of WESSEL O'CONNOR GALLERY

コペンハーゲンでの展覧会で初めてイケに会った。まず驚いたのは彼の髪型で、それはこれまでに見たこともない、ミッキー・マウス状のドレッド。イケは髪取ってフランスパンにバターを塗りながら、「プリンセス・王子はもっと表に出たほうがいい」と言った。

イケは、17年前、ナイジェリアからNYに渡った。この何年か、「COVER GIRL」というシリーズをずいぶん続けている。このシリーズでは、「ヴォーグ」や「ハーバース・バザール」、〈コスモポリタン〉、〈GQ〉、〈ミラベル〉〈ハウスビューティフル〉などのファッション誌、一般誌のカバーにカバーガール・イケがいかにもその雑誌にふさわしいスタイルで登場する、というもので、ファッションナブルな彼にはまったく似つかわしい。イケ型のヘアスタイルをした子どもが三輪車に乗っている〈ヴォーグ・バンビーニ〉もある。NYでは、ファッション・ビデオに出演などもしているらしい。

「COVER GIRL」は単なる変身ものではなく、既成の一定にファッションにかかわる雑誌の表紙に入り込んでいる。イケのやっていることは、アイデンティティ探しとか広告に代表されるメディアへの批判などではなく、ファッションナブルな黒人という自分の、ポジティブな未来の可能性についてのしごとなのだと思う。

Future Perfect (P73参照) というヴィジョンは、イケと話しているときに生まれた。

ある夜中、みんながゲイ・クラブに繰り出しているとき、イケを連れて〈コペンの70年代のカトマンズ〉と言われる、クリスチニアに行った。イケはとても喜んでしたが、買い物すぎて得りのタクシー代がなくなった。僕もなくなったので、スペイン人のおれに払わせることに決めて、われわれはここにきて街中のホテルへ帰った。

今度、香港で撮るビデオのメインのアクターの一人をイケにしようと思ったのは、そのときだ。